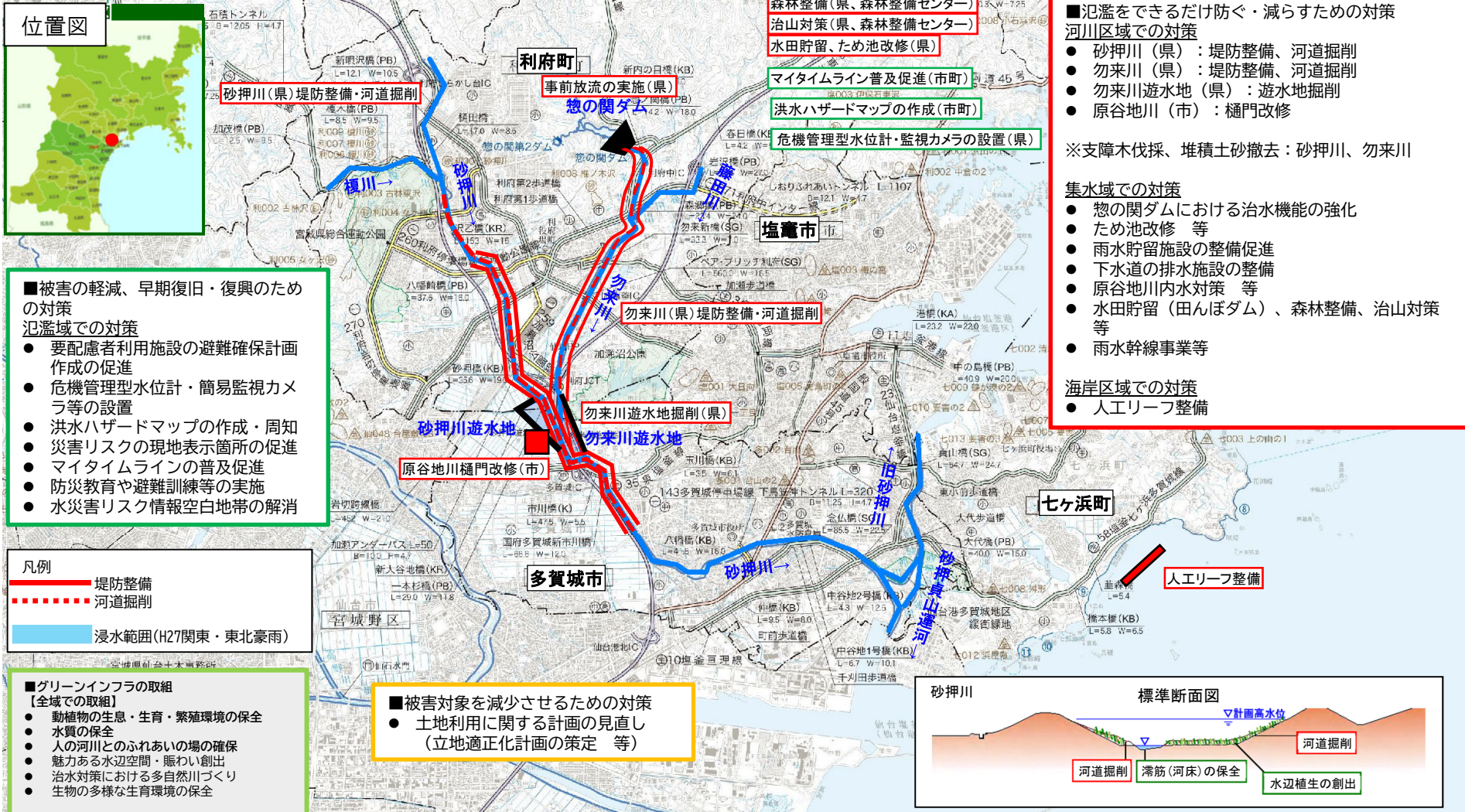


●グリーンインフラの取り組み 『流域のまちづくり事業と連携した河川環境の整備と保全』

- 令和元年東日本台風では、県内各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、砂押川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 県、市町が連携し、以下の取組を推進していくことで、50年に一回程度の規模の降雨を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 砂押川水系では、各河川の上下流・支川の流域における地域特性を踏まえ、県・市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】砂押川及び勿来川において、各遊水地上流における河道掘削などの河川改修を実施。
 - 【中期】勿来川上流河道改修の状況を把握しながら、適切な時期に勿来川遊水地の掘削を実施。
 - 【中長期】維持管理計画に基づき、河道状況を把握しながら適切に堆積土砂撤去・支障木伐採を実施。
- あわせて、流域市町が進めるまちづくりとの調整を図りつつ、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（原谷地川排水樋門改修、雨水浸透貯留施設の新設等）や市街化の進展に伴う雨水流出量の増大を抑制する雨水貯留浸透施設整備の推進などの流域における対策、ハザードマップや河川水位等の情報発信などソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工期		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削	宮城県	▶		
	堆積土砂撤去・支障木伐採	宮城県	▶	河道内の状況より順次実施	
	雨水貯留施設の整備 ため池改修、水田貯留	流域市町	▶		
	森林整備・治山対策等	宮城県 森林整備センター	▶		
被害対象を減少させるための対策	適正な土地利用の規制	流域市町	▶		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	宮城県	▶		
	避難体制等の強化 洪水ハザードマップの作成・周知	流域市町	▶		
グリーンインフラの取組み	治水及び利水面との調和 自然環境の保全	宮城県	▶		
	森林整備・治水対策等	宮城県 森林整備センター	▶		
	洗浄水の雨水利用	流域市町	▶		
	水生生物調査による環境学習	流域市町	▶		